

Zoom ハイブリッド構成

会場と Zoom のオンラインでつなぐハイブリッド構成について記載します。

■ハイブリッド構成のチェックリスト

✓	内 容
	イベントの内容によって会場の参加者とスタッフのレイアウトを検討する。
	インターネットは通信安定化のため Wi-Fi ではなく有線を検討する。
	会場にパソコン、スクリーン、マイク、スピーカーを配置する。
	会場風景を映す場合はビデオカメラを用意する。
	出演者への照明を用意する。
	使用機器のレイアウトと接続図を作成する。
	会場で資料をプロジェクタで投影する場合、Zoom 参加者へ資料を画面共有する担当者を設定する。
	会場ではハウリング防止のため 1 台のパソコンのみをマイク ON とスピーカー ON にする。
	講演の開始前に「すべてミュート」に設定する。
	講演中は「すべてミュート」を操作しない。(講師がミュートになってしまうため)
	講演中は参加者にミュート解除を許可しないように設定する。
	質疑応答の際は参加者にミュート解除を許可する。
	講師や発言者へスポットライトを必要に応じて適用する。
	講演では参加者へ必要に応じて「ビデオの停止」を設定する。
	参加者へ「ビデオの停止」を行った場合、その解除は「ビデオの開始を依頼」を設定する。

本チェックリストは Zoom アプリがバージョン 5.10.1 の場合です。
バージョンによって内容が異なる場合があります。

ハイブリッド構成のレイアウトについて、下記の場合をモデルケースとして記載します。

- 講演会（講師が会場で講演する場合）
- 講演会（講師が Zoom で講演する場合）
- 会議、懇談会

以下のレイアウトは、あすぴあの備品で構成しています。

■ 講演会（講師が会場で講演する場合）

講師と司会を撮影するためビデオカメラを使用します。

また、会場の参加者を撮影するため Web カメラを使用します。

講師は講演資料を Zoom の画面共有を使用してプロジェクタで投影します。

Zoom 参加者は大型モニターで表示して、講師からも見えるようにします。

会場：講師、スタッフ、参加者

Zoom：参加者

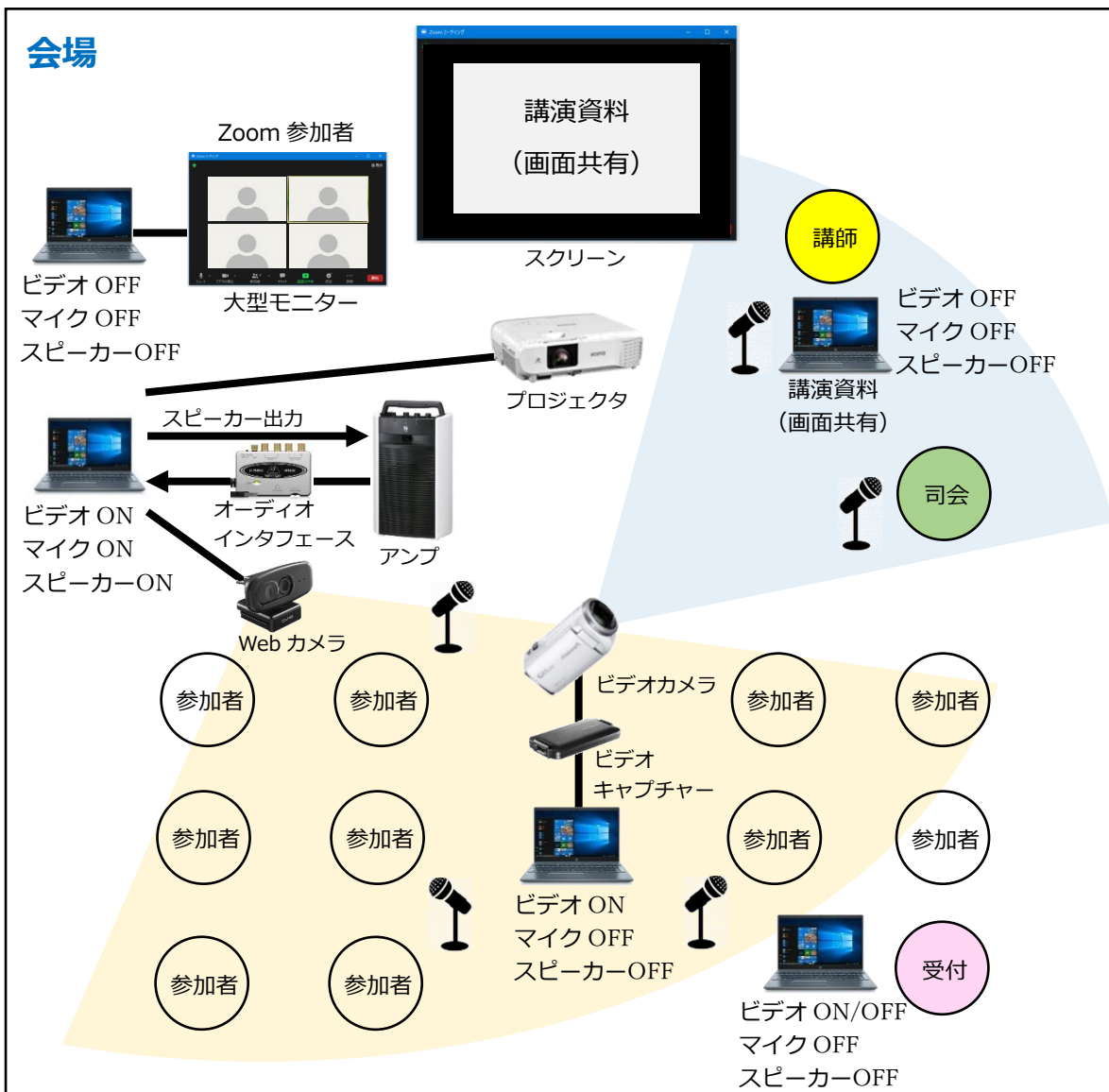
ビデオカメラ：講師、司会を撮影

Web カメラ：会場の参加者を撮影

スピーカー：アンプ

マイク：アンプ

Zoom 参加者



■ 講演会（講師が Zoom で講演する場合）

Zoom 上の講師は会場でプロジェクタにより投影します。

会場の参加者はビデオカメラで撮影して、講師が Zoom で見られるようにします。

会場：スタッフ、参加者

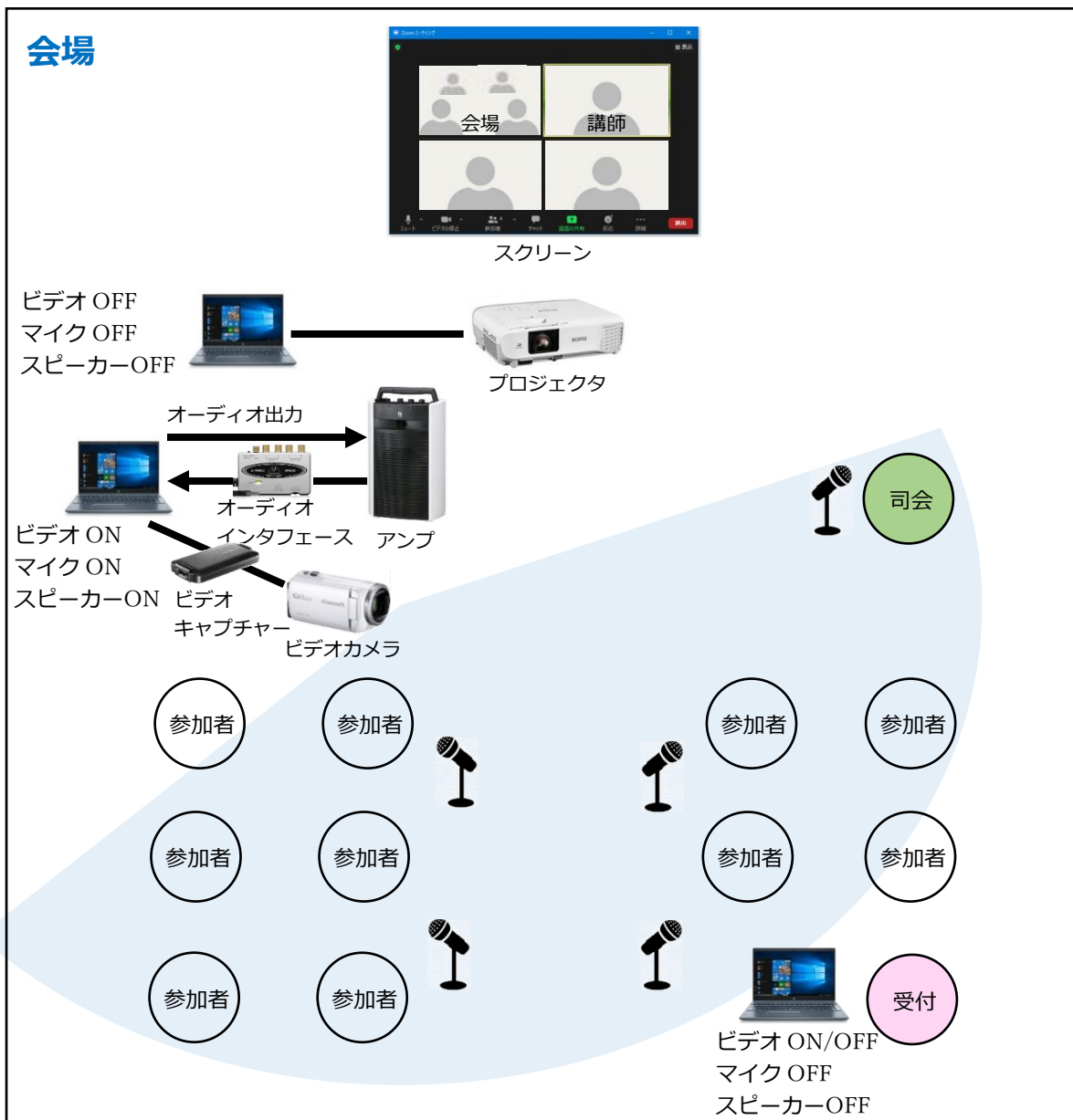
Zoom：講師、参加者

ビデオカメラ：司会と会場の参加者を撮影

スピーカー：アンプ

マイク：アンプ

Zoom 参加者



■ 会議、懇談会

参加者全員が発言するような会議や懇談会の場合、会場で発言者個人を撮影するため、オウルの360度カメラを使用します。オウルのカメラはタブレットにより手動で操作できます。

司会者はZoom上で常に映るようになるため、司会者専用のパソコンを用意します。

会場：司会、参加者

Zoom：参加者

カメラ：オウル

スピーカー：オウル

マイク：アンプ

Zoom 参加者

